

発行 / 社会福祉法人あぶくま福祉会 就労継続支援B型事業所 ほとほら授産所

〒960-0657 伊達市保原町字中瀬町 100 Tel/fax 024-575-4355

3月の主な行事

- 3月 3日(金) 誕生会・ひな祭りのつどい
- 8日(水) 工賃支給日
- 11日(土) 土曜利用日
- 16日(木) 内科健診
- 31日(金) 年度末期末手当支給日

3月誕生月 おめでとうございます

佐藤静香さん 畠 海就さん 松浦広貴さん
誕生月 おめでとうございます。
誕生会は3月3日に行います。お楽しみに!

鬼をはらって運開く!



鬼めがけて豆をぶつける年女、齋藤サト子さん



鬼乱入!

2月3日、節分の日に、ほとほら授産所「節分のつどい」を行いました。

当日は午前の作業を早めに切り上げ、食堂に集まって中木所長から節分のお話を聞いた後、今年も新型コロナウイルス感染症予防のため、鬼は食堂の外の出入り口から登場。今年の鬼は3人で、鬼の姿のパネルを持って現れました。今年の年女の利用者齋藤サト子さんと岩崎真由美さん、中木所長が代表となって食堂の外出入り口から鬼めがけて豆をぶつけ鬼を退治しました。



豆まきを終えた後は、お昼の給食の時間に合わせてすし竹さんからご寄付いただいた「節分のお寿司」の会食タイムです。密にならないよう利用者さんたちは無言で美味しく食べてました。

今年も節分に合わせてすし竹様のお寿司をいただくことができ、利用者さんたちは大変喜んでいました。



美味しくお寿司をいただく利用者さんたち
(写真上、下、右)



お持ち帰り専門 **すし竹** 様からお寿司寄贈受ける

SUSHI-TAKI



鈴木店長さんからお寿司を受け取る両施設利用者代表の皆さん

2月3日の節分の集いに合わせて、今年もお寿司のテイクアウトで人気があるすし竹様から、節分のお寿司のご寄付をいただきました。

当日は、だての郷ロビーで贈呈式が行われ、ほどはら授産所から利用者代表の佐藤利彦さんと佐藤 瞬さん、だての郷から利用者代表の八巻研二さん、浅野恵美さん、尾崎隆信さんと鈴木芳彦さんが出席し、赤橋店店長の鈴木 敦さんからお寿司の贈呈がありました。式の中で中木統括施設長から御礼のことばを申し上げました。毎年ご寄付いただいておりますこと、この紙面を借りすし竹様に厚く御礼を申し上げます。

ほどはら授産所作業班 この1年 2022.4-23.3 リサイクル班

令和4年度作業班の活動を報告します。
利用者の皆さん、お疲れ様でした。



リサイクル班の皆さん



精密機器の部品を分解する作業
をする利用者さん



ベッド手すりの洗浄作業をする利用者さん



黙々と作業に取り組むリサイクル班

リサイクル班のメンバーのみなさん、一年間作業お疲れ様でした。

今年リサイクル班は、主に電子、電気機器をドライバーで分解して、素材毎に分別、納品し資源をリサイクルする作業を行いました。年度の後半では請け負う作業量が安定、増加した為、手早い作業を求められましたが、皆さん頑張って期待以上にどんどん作業に取り組んでくれました。

また、洗浄作業としては、介護用ベッド本体と手すり部分の洗浄、消毒する作業を行いました。汚れはいろいろな所にあり、狭い所や影の部分の汚れを丁寧に落とす大変な作業でした。ベッドを覗き込みながら汚れを見つけ丁寧に洗浄することが出来ていたと思います。

休憩時間は班の仲間同士楽しく過ごし、作業時間になると気持ちを切り替え真剣に作業に取り組む姿が素晴らしかったと思いました。

来年度も班のみなさんで協力して作業を進めていって欲しいと思います。よろしくお願ひします。

(担当：鈴木信行主任)

農耕園芸班



農耕園芸班の皆さん



花苗に肥料や水を与える利用者さん



出荷のため荷揚げする利用者さんたち



花苗ポット再利用のためきれいに磨く利用者さんたち



新築した倉庫に荷物を運ぶ利用者さん



新大型ハウスに敷き詰めた花苗

令和4年度も新型コロナウイルス感染症の終息の見通しが立たない中、感染予防を行いながら作業を行う日々でした。大型ハウスも完成しましたが、ハウス内外の給水工事と防草シート敷きやベンチの設置などの整備もあり、使用開始は秋以降となりました。

また、倉庫の解体・新築工事も6月から施工11月に竣工し、一連の工事が完了しました。ハウス・倉庫の工事期間中は、安全優先とコロナ感染防止もあり「ほどはら花市（6月）」と「あぶくま祭（10月）」は中止となりました。特に園芸班の利用者皆さんは、作業場所を工事に合わせて変更することもあり、慣れない場所と寒暑風雨の中、懸命に作業に取り組んでいただきました。皆様のご協力により、事故もなく無事に過ごせたことに感謝申し上げます。

現在は、新しい環境の中で春・夏に向けた花苗栽培を本格的に開始し、順調に生育しており、まもなく植え替え作業が始まります。例年とは違った今年度でしたが、作業環境も整い、より一層、良い花苗栽培を目指して参りますので令和5年度も皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。
(担当：佐藤典昭管理者)

手工芸班



旅館のタオルたたみ作業をする利用者さん



手工芸班の皆さん



トイレトーパー包装作業をする利用者さん

刺し子布巾づくりをする利用者さん

コロナウイルスの影響を受け、タオルの作業が少なくなってしまいましたが、今年度に入り再度作業が入るようになりました。

皆さん笑顔で作業に取り組む事が出来うれしく思います。これから、益々作業量が増える事を期待しております。

刺し子ふきんにおきましては、皆さん集中してたくさんの作品を仕上げております。ご利用の際にはよろしくお願ひいたします。

トイレトーパーに関しましても、固定客の方が増えてきています。これから益々売り上げが伸びる事を期待しております。保護者の皆様にもご利用いただくと嬉しいです。

新しい年度を迎えるにあたり利用者の皆さんは、令和4年度同様に今まで苦手になっていた作業においても挑戦していく気持ち・班の枠を超えどんな作業にも挑戦する気持ちを持っております。とても楽しみです。

まだまだコロナウイルスの影響を受けていますが、コロナウイルスに負けない体と心を育てていきたいと思ひます。

保護者の皆様方に温かく御支援をいただきながら、令和5年度はより飛躍した年にしたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。

(担当：管野富江職業指導員)

段ボール班



仕切り組作業をする利用者さん（写真上下）



梱包した製品の荷揚げをする利用者さん



段ボール班の皆さん



ボンドをつけて箱作りをする利用者さん

今年度、私たちダンボール班では、主に安全靴の外箱組立てと中箱組仕切り（加工食品用、お酒用、果物類用）の作業を行いました。伊達市保原町工業団地にあります「王子コンテナー福島工場（王子製紙グループ）」様のご協力のもと、利用者のみなさんの特性に合わせながら、社会参加・訓練という目的を考慮した発注を頂き、一年間仕事に責任を持って取り組むことが出来ました。おかげさまで今年度は品質へのクレームも無く無事に一年を締めくくることができました。私たちの仕事は協力企業様があってこそ成り立つ作業であり、優先的に授産所へ発注して頂けることは大変ありがたいと同時に、注文に対しての品質管理・責任の重さも実感しています。

昨今の物価高の高騰のあおりを受け、流通業界へも大きな影響が依然として続いています。注文の無い日が続いたかと思えば、急な注文で納期が無く、大至急膨大な生産加工数という注文が突然舞い込むという状況もありました。しかし、どんな状況でもみなさん、臨機応変に対応してくれ、時には休憩も惜しんで取り組まれる等、それぞれ努力する姿がみられ、大変心強さ、熱意を持って取り組まれていると実感しております。

何よりも一年間、大きなケガや事故もなく毎日作業に臨めたことは大変良かったと思います。これからもみんなで仲良く協力、助け合いながら生産量の増進、技術の向上、意欲と責任感を持ち続けて作業に励んで頂きたいと思っております。一年間大変ごろうさまでした。

（担当：木村光永目標工賃達成指導員）



花粉シーズン到来 食の観点から予防対策を探る



株式会社メフォス福島第一事業部
福島支店第2課係長 佐藤 久美

冬の厳しい寒さもひと段落し、春の訪れを感じる季節になってきました。気分も軽くなって体を動かしたくなる時期ですね。一方で花粉症の方にとっては憂鬱なシーズンの始まりですね。日本では約60種類の植物の花粉により、花粉症を引き起こすと報告されています。

～花粉症の原因～

- 1 戦後、大量に植林された杉が成長し、花粉を大量に放出しているから。
- 2 気密性の高い住宅に入ってしまった花粉が外に出られず蓄積する、道路が舗装され、車の通行や排気ガスなどで花粉が舞い上がりやすくなっている。
- 3 不規則な生活リズムが自律神経を乱し、免疫機能の低下を招きアレルギー反応を起こしやすくなる。



花粉から身を守る

「吸い込まない」「寄せ付けない」「持ち込まない」が大事です。

花粉症を発症していない人も油断は禁物です。

花粉などのアレルゲンに対する許容量には個人差があります。数年から数十年間、アレルゲンが蓄積され許容量を超えると防御反応として花粉症などのアレルギー症状がおこります。今、発症していない人も、花粉症を発症する可能性があります。

症状を悪化させないために免疫力を高めましょう。



免疫力アップが期待できる食べ物として、肉・魚・卵・大豆製品・乳製品などの良質なたんぱく質。緑茶・ココア・赤ワイン・そば・野菜・果物に含まれるポリフェノール（抗酸化物質）。緑黄色野菜のビタミン類。きのこ等の食物繊維。納豆・漬物・ヨーグルト・みそ・しょうゆ等の発酵食品（腸内環境を整える）があります。いずれもバランス良く摂取する事が大事です。食べ物以外では十分な睡眠と適度な運動、ストレスを溜めない事も大切です。

免疫力をアップし、これからの活動的なシーズンに備えましょう。

一年間コラムをお読みいただき、ありがとうございました。皆さんのお昼の給食の時間に美味しいメニューをお出しできるような努めますので、どうぞよろしく願い申し上げます。

すし竹赤橋店様へ 御礼に伺う



すし竹さんに御礼メッセージをお届けした利用者代表の鈴木さん（前列左）と佐藤さん（右）

2月20日、ほどはら授産所の佐藤静香さんと、だての郷の鈴木芳彦さんが担当職員と一緒に、節分の際、施設へお寿司のご寄付をいただいた有限会社すし竹赤橋店へ、御礼に伺いました。

社長の大竹進二さん（写真後列左）と赤橋店店長 鈴木 敦さんに、吉田理事長のお礼状と、両施設の利用者さんが作った御礼のメッセージプレート、お寿司を美味しくいただいている写真をお渡ししました。大竹社長さんからは「皆様からの感謝のことは、ありがとうございました。来年もお届けしますので、楽しみにお待ちしております」と御礼のことはいただきました。

改めてご寄付に感謝申し上げます。

人権擁護虐待防止研修開く



石井先生のお話を真剣に聞く職員の皆さん

2月6日、法人職員を対象に「人権擁護虐待防止研修」をほどはら授産所で開きました。利用者様の人権を守り、支援中における虐待を防止するための職員の規範意識向上をねらいに、ふくしま基幹相談支援センター主任相談支援専門員 石井 豪氏を講師に招き、講義とグループ討議を行いました。

講義では、資料を基に虐待事案のお話を聞きました。グループ討議では、実際に支援を行っていて問題点を話し合い、テーマを決めて短い時間ではありましたが、人権を守る意識を高めていました。

研修の中で「身体拘束」について、虐待との線引きをする基準等、石井氏から具体的なお話を聞くことができました。

当法人4事業所の職員20名が参加し、利用者様の人権を守る意識を深めました。



各グループ、テーマを決めて討議しました

編集後記 令和4年度の年度末を迎えました。振り返ると今年度も新型コロナウイルス感染症予防のため、事業計画が大幅に縮小、行事が中止や変更、施設の休業など、利用者さんにとって我慢の年となりました▼あぶくま福祉社会福祉充実計画のメイン事業ほどはら授産所の農耕園芸用大型ハウスが完成、付帯工事の給水・電気工事も完了。順調に就労活動を行っています▼節分の集いに際し、すし竹様から今年もお寿司をいただきました。毎年利用者さんたちは楽しみにしており、美味しくいただくことができました。改めてすし竹様に御礼を申し上げます▼現在、新年度に向け事業計画案と予算案の編成が大詰め、厳しい財政の中、充実した就労支援活動ができるよう作業を進めています。事業と予算は今月開く理事会、評議員会で議決を受けることになっています▼中瀬町町内会の皆様には会員に加えていただき、ありがとうございました。会長さんと班長さんには当所広報を配付いただき御礼申し上げます。皆様、新年度もどうぞよろしくお祈りいたします▼結びに、令和4年度ほどはら授産所ほどはら通信を1年間お読みいただき、ありがとうございました。施設と保護者の皆様をつなぐ架け橋として、引き続きよろしくお祈りいたします。(M)